

こうら

第112号

2025年11月

9月定例会

議会だより



目次

決算をチェック	2
審議結果	4
VOICE（町民の声）	12

決算をチェック

9月
定例会

令和7年9月定例会が、9月4日（木）から9月24日（水）までの会期で開催された。

令和6年度の決算は、予算・決算常任委員会に付託され、審査が行われた。

○委員会開催日 令和7年9月8日（月）、9日（火）（2日間） ○委員長 西川 誠一 ○副委員長 木村 誠治

予算・決算常任委員会 Q&A

Q 軽自動車税の滞納について、車を買換えた場合、滞納があれば滞納分を払ってその車の納税証明を出しているのか。
滞納がある場合の給付金は出ないのか。

A 一台ごとの管理のため、その車の納税があれば発行せざるをえない。
給付金は、国からのものは滞納に関係なく給付するが、町の各種施策の補助金は、滞納者に対する補助金交付の制限に関する規則により、申請された本人に滞納があれば交付の制限がある。

Q 総務管理費の近江鉄道線輸送安全確保事業2,514万円は、大規模修理などの更新等の予定は計画に上がっているのか。
また、負担金等の見直しは今後ありうるのか。

A 沿線10市町の負担金をとりまとめているのは近江鉄道線管理機構で、大きな変動がないよう10年スパンで計画が立てられている。負担割合は協定締結したものであるため、全市町合意がないと変更はない。

Q 教育総務費の社会科副教材「わたしたちの犬上」製本事業322万円について、児童の反応は。
また、海外生徒とのリモート交流試行事業63万円について、その内容と生徒の反応は。

A 副教材は、令和7年度より使用し、意欲的に学習している。年度末にはアンケートを実施予定。リモート交流は、中学生議会での提案により実施されたもので、クラス単位で行い、実施時間は45分程度で1、2年生は年3回、3年生は年2回行った。交流や英語が楽しかったという反応だった。

（意見等）

清掃費の不法投棄監視・収集運搬業務委託157万円は、合特法の事業の一部であり、業者に委託して月2回町内を巡回しているが、パトロールしているのを見たことがないので、写真だけでなく、詳細な報告と、監視がわかるような広報が必要ではないかという意見があった。

主な歳出事業

平和の礎整備事業

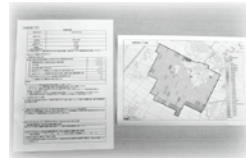
忠霊塔・忠魂碑の歴史を受け継ぎ、平和の大切さを継承していくため令和6年11月に、新たな平和記念のモニュメントを建立。



210万円

人・農地のみらいを考える「地域計画」作成事業

地域における農業の将来の在り方等について、地域の協議結果をふまえて、農用地の効率的かつ総合的な利用を図るための「地域計画」を策定。



228万円

ニホンザル個体数調整推進事業

甲良町、愛荘町を主な生息域としているニホンザル個体群「甲良B群」の加害レベルが9になり、水稻、大豆の農作物被害が頻発したことにより、全頭捕獲による個体数調整事業。



227万円

学校等給食費無償化事業

給食費無償化により、こども園、小中学校給食費の保護者負担を削減し、経済的困難から子どもの健康や学習意欲を損なわないようにする。



4,291万円

決算審査指摘事項

○実施期間 8月4日、5日、8日
○代表監査委員 上野 安德
○議選監査委員 木村 修

審査意見

- ①歳入決算における自主財源構成比は、一般会計ベースによると27.7%と前年度（29.2%）に比べて1.5ポイント低くなった。自主財源の「町税」や「諸収入」の減額及び依存財源が昨年より増加したことが主な要因である。同級他団体に比べ低い状態が続いており、今後は更に税や使用料を確実に徴収すると共に、納付督促や納付意識の向上等に努め、収入確保に最大限の努力をされたい。
- ②令和6年度も物価高騰により経済情勢が不安定であり、更なる高齢化に伴う医療・介護等の給付額の増加や更なる人口減が見込まれる。財源確保の厳しい状況が継続されるが、令和4年4月に過疎指定されたことに伴う過疎債の発行は、町民が将来にわたって安全に、安心して暮らせる地域社会の実現のため、事業を吟味し有効に活用されたい。
- また、第三次財政健全化計画により策定された詳細な改善プログラムを、確実に実行されたい。
- ③徴収金の滞納状況については、前年度より14,037千円減り、1億72,919千円となった。町税や使用料・保険料・貸付金等は、町財政における貴重な財源であり、滞納があることは、健全な財政運営を確立できない要因であるとの厳しい現状認識を職員一人一人が持つとともに、権利と義務が果たされる社会秩序を維持するためにも、公平公正な徴収の認識のもと、実効ある収納・徴収業務を更に進められたい。

令和6年度 各会計別歳入歳出決算状況

（単位：万円）

会計別	歳入決算額	歳出決算額	差引残額
一般会計	42億3,294	40億8,688	1億4,606
国民健康保険特別会計	8億6,583	8億5,798	785
墓地公園事業特別会計	147	147	959円
介護保険事業特別会計	11億163	10億5,921	4,243
後期高齢者医療事業特別会計	1億372	1億341	30
水道事業会計	1億8,343	1億6,288	2,055
下水道事業会計	3億3,683	3億1,378	2,305

※決算額は、千円の位を四捨五入して計上しています。

審議結果

賛 否	議 員 名									議長	結果
	福原	木村誠	藤居	山田	小森	西川	野瀬	木村修	西澤	丸山	
一般会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	●	—	認定
国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	
墓地公園事業特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	
後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	
水道事業会計歳入歳出決算並びに事業報告の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
下水道事業会計歳入歳出決算並びに事業報告の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	

【賛成は○、反対は●、議長は可否同数の場合のみ採決に加わる】

審議結果

令和7年9月定例会

報 告

専決処分の報告について（損害賠償の額を定めることについて）

専決処分の報告について（議決を経た契約の変更について）

令和6年度 甲良町財政健全化判断比率の報告について

令和6年度 甲良町水道事業会計資金不足比率の報告について

令和6年度 甲良町下水道事業会計資金不足比率の報告について

全 員 賛 成

専決処分に付き、承認を求めることについて（令和7年度 甲良町一般会計補正予算（第2号））

甲良町火入れに関する条例の一部を改正する条例

甲良町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例

甲良町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例

甲良町企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例

財産の取得につき、議決を求めることについて（電算機器譲渡特約付賃貸借契約）

財産の取得につき、議決を求めることについて（児童生徒GIGA端末）

人権擁護委員候補者の推薦につき、意見を求めることについて 若林 嘉昭 氏（正楽寺）

令和7年度 甲良町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）

令和7年度 甲良町墓地公園事業特別会計補正予算（第1号）

令和7年度 甲良町介護保険事業特別会計補正予算（第2号）

令和7年度 甲良町後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）

令和7年度 甲良町水道事業会計補正予算（第2号）

令和7年度 甲良町下水道事業会計補正予算（第1号）

和解につき、議決を求めることについて

賛否がわかれたもの

賛否がわかれたもの	議 員 名									議長	結果
	福原	木村誠	藤居	山田	小森	西川	野瀬	木村修	西澤	丸山	
財産の取得につき、議決を求めることについて （消防ポンプ自動車）	○	○	○	○	●	○	○	○	●	－	可決
生活保護費引き下げ違憲訴訟の最高裁判所判決を踏まえ、速やかな対応を求める請願書	●	○	○	○	○	○	●	●	○	－	
令和7年度 甲良町一般会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	●	－	
生活保護費引き下げ違憲訴訟の最高裁判所判決を踏まえ、速やかに対応を求める意見書（案）	●	●	○	○	○	○	●	●	○	－	
消費税率5%以下への引き下げとインボイス制度の廃止を求める意見書（案）	●	○	●	○	○	○	●	○	○	－	

【賛成は○、反対は●、議長は可否同数の場合のみ採決に加わる】

生活保護費引き下げ違憲訴訟の最高裁判所判決を 踏まえ、速やかに対応を求める意見書



- 1 猛暑を乗り越えるためにも、緊急に物価高騰に見合う10%以上の大幅な基準額引き上げを直ちに行うこと。
- 2 違法な減額によって侵害された原告及び生活保護制度利用者の生存権を一刻も早く回復するため、減額分を遡及して保障すること。
- 3 「物価偽装」などの手段を用い、基準部会に諮らないなどの違法な手続きによって保護基準額を引き下げ、長期間にわたって原告及び生活保護制度利用者の生存権を侵害し、痛苦を与えてきたことに対し、真摯に謝罪すること。
- 4 違法な減額処分を行った経過と原因、責任の所在を検証し、再発防止策を明らかにすること。

消費税率5%以下への引き下げと インボイス制度の廃止を求める意見書



- 1 消費税率を5%以下へ引き下げること。
- 2 インボイス制度を廃止すること。

議会広報特別委員会研修報告

8月28日（木）に、令和7年度町村議会広報研修会がLINE CUBE SHIBUYA（渋谷公会堂）で開催され、本町からも議長と広報委員5人で参加しました。

3つの研修のうち、「インタビュー記事を足して読まれる広報紙にしよう」の内容は、人物取材では気持ちよく話してもらうためのポイントや、記事設計のフォーマットを用いた記事の作り方について研修し、今後の紙面づくりの参考にしたいと感じました。

スマートフォン活用した撮影ノウハウ、インタビュー撮影技術については、動画による広報は、現在本町では採用していないものの、今後の広報の在り方についても考える機会となりました。

いずれにしても、いかに発信し、魅力ある内容にしていくか、研鑽が必要であると感じた研修でした。



一般質問

町政のここが知りたい！ 聞きたい！

一般質問とは、議員の日常活動と調査・研究・住民の声や自身の考え方をもとに、町長などに方針を問うものです。

ページ	質問事項	質問議員
7	◎最近増えてきたラウンドアバウトについて ・熱中症対策について ◎顕著な成績を収めた町民への対応について	のせ 野瀬 よしひろ 欣廣
8	◎新ごみ処理施設整備計画について ・従来の健康保険証とマイナ保険証の取り扱い等について ◎学校給食無償化について ・東西保育園（こども園）統合構想の現状について ・尼子駅前住宅地整備事業を問う ・災害時の避難所整備について ・生活保護費削減違憲判決を受けたことについて	にしざわ 西澤 のぶあき 伸明
9	◎農業排水河川について ◎メガソーラー（大規模太陽光発電）について ・参議院議員選挙について	きむら 木村 せいじ 誠治
10	◎町所有施設の除草等について ・地域防災対策について ◎農業施策について ・中学生の教育支援について ・小学生等の防犯対策について	ふじい 藤居 きちや 吉也
11	◎ゴミ処理問題について ◎環境問題について	やまだ 山田 みつよし 光義

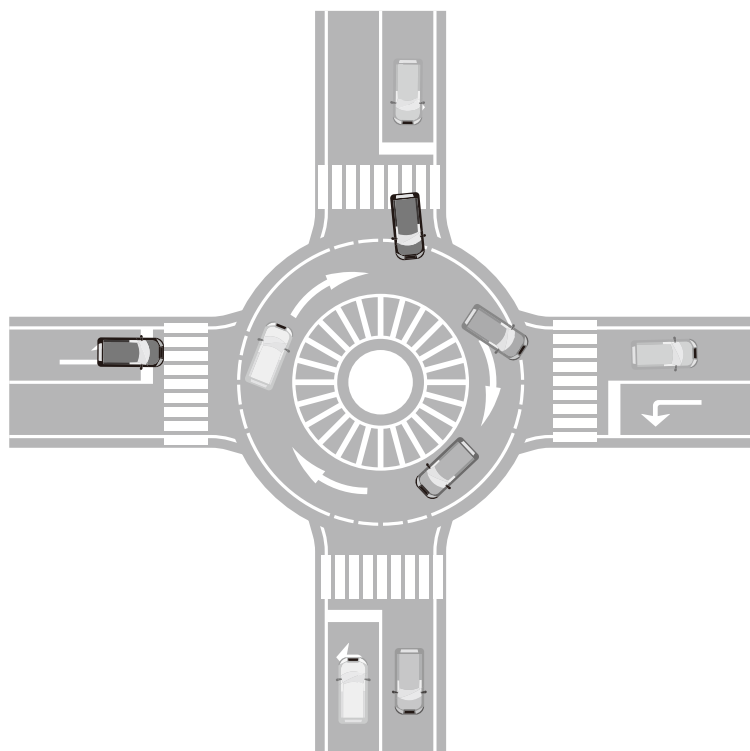
◎印の質問を掲載しています。



野瀬 欣廣 議員

問 ラウンドアバウト 一般質問 注意喚起の周知は

答 「広報こうら」、駐在所発行の「せせらぎ」で周知していきたい



問 最近滋賀県でもラウンドアバウトが増え
てきている。郊外にラ
ウンドアバウトが増え
てきている理由は何
か。

答 ラウンドアバウト
が増えている理由は、
交差点侵入速度が抑え
られ、車同士の正面衝
突事故や歩行者等との
事故も減少し、信号機
が不要になるので経費
削減のメリットもある。
また、彦根管内には
もう一ヶ所石寺にも設
置しているので、彦根
署交通課と相談して、

「広報こうら」と甲良
駐在所発行の「せせら
ぎ」で町民に周知して
いきたい。

※「ラウンドアバウト」
とは交差点の中央に
島があり、車両がそ
の島を囲む環状の道
路を時計回りに一方
通行で走行する交差
点のこと。

問 本町出身者の

全国大会・世界大会 出場の栄誉について

答 要綱に則って対応する

問 最近、本町出身の
選手が甲子園出場や全
国大会出場、世界大会
出場というニュースを
目にするが、町民に対
してどのように広報し
ているか。

答 要綱に従って、各
種スポーツ活動又は芸
術文化活動の向上及び
振興のため近畿、全国、
国際大会に出場する個
人に対し、激励金を出
しており、希望があれ
ば懸垂幕と広報掲載を
している。

また、激励金は出し
ているのか。

国際大会出場もしく
は優秀な成績の場合は
激励金をもう少し多く
出しても良いのではな
いか。





西澤 伸明 議員

問 新ごみ処理施設 建設費の負担割合について

答 事業費用、財政負担を最重視する

問 新ごみ処理施設建設費は、現在分かっているだけでも300億円を超える。さらに400億円あるいは500億円とも言われ、今後、急激な人口減少が予想される中、20〜30年もの間、巨大施設の借金返済を続けるという不合理を考慮する必要がある。

彦愛犬の広域行政組合の条例に基づいて、各市町の負担と住民の負担額を試算すると、例えば施設建設費が400億円の場合、彦根市民の1人当たりの初期投資の負担額は約225,000円。一方、甲良町民は約481,000円で、1対2となる。財政運営上で、非常に悩ましい問題であり、簡単に降って湧いてくる財源はないが町長の見解は。

また、ごみ量は彦根市が約73%を占める。

人口規模が12万人を超える彦根市との協働事業における財政負担の割合は徹底して、平等にしなければならぬがどう考えているか。

答 彦根市も厳しいと思うが、本町も滋賀県で下から4番目程の指数なので、この事業一辺倒にかかれれば、他の事業もできなくなってしまう。そのため事業費用、財政負担を最重視していきたいと考えている。

また、決算概要資料を見ると、彦根市の公債比率がすごく高い。これから彦根市は彦根市、本町は本町として考え、対等な形で新ごみ処理施設が進むべきと考えている。

問 学校給食無償化の 継続について

答 無償化は令和10年度からは実施しない

問 学校給食費の無償化は町民の方々に喜ばれ歓迎されている。子育て支援、くらし応援となるものであるため国に働きかけるなど、単年度実施ではなく恒久制度に格上げすべきではないか。

答 元々給食無償化は、恒久的ではなく、学校給食法の観点と財政難であることから、令和9年度まで実施し、令和10年度からは実施しないと決定している。



一般質問

問 農業排水河川の 維持管理体制について

答 農村まると交付金で連携対応を行う



木村 誠治 議員



問 四の井川に通じる農業排水河川の維持管理は、県、町、土地改良区や地域住民も関わっており、その責任や役割分担が十分に整理されていないことから、除草や浚渫の対応が後手に回るケースが見られる。土砂堆積や雑草繁茂が進めば、排水機能が低下し、大雨時には農地や住宅地に深刻な被害を及ぼすおそれがあるため維持管理体制、誰がどのよ

うな範囲を担当するのか。

答 農村まると交付金の中で財源を捻出し、維持管理を共同作業体制で行う。大きな排水で雑木等が生え、ひどい状態は確認している。年次計画を立て複数年貯金するなどし、管理区域となる尼子区、小川原区が連携した形で対応をする方法になる。

問 メガソーラー発電所建設の

可能性について

答 町内での山林の整備は極めて困難である

問 全国で大規模太陽光発電の建設が進められる中、森林伐採や斜面開発に伴う土砂災害、水害リスクの増大、環境破壊や景観悪化を懸念する声が多くある。メガソーラー建設に伴う防災環境への影響をどのように評価し、規制監視体制をどのように整えているか。

答 メガソーラー（1,000kw級）設置には敷地2ha以上が必要で、町内山林の場合5,000㎡以上の開発許可が必須。土砂災害や水害、環境悪化の防止など4要件を満たし、住民説明会も義務付けられ、売電に



は経済産業省の開発許可が必要。更に高圧送電線（鉄塔）が近くにないと送電困難で、高

圧線の接続工事が必要となるため、町内山林への発電所整備は難しいと考える。

一般質問

問 町所有施設の 除草等の環境整備の実施は

答 消防車庫周辺は年2回実施



藤居 吉也 議員



問 町施設の①役場周辺、②福祉センター周辺、③道の駅周辺、④甲良中、東西小学校周辺、⑤各町道について除草作業はどのように実施しているのか。

答 ①消防車庫等の施設はシルバー人材センターにて年2回実施、庁舎周りは職員で随時対応、②福祉センター周辺はシルバー人材センターにて年1回実施、

③道の駅周辺は今年から指定管理者の管理範囲を駐車場まで広げ除草している、④学校関係は保護者ボランティア、コミュニティ・スクールの方をお願いして、敷地外側については職員が不定期に実施、⑤町道等は適切な時期に道路を巡回し清掃、除草を実施している。

また、除草作業を工事で発注するなど随時対応している。

問 本町の農業対策は

答 調査資料を取りまとめ協議していく

問 令和の米騒動において、政府は米の増産に向けてかじを取ると発表しており、本町として基本的などのような推進を考えているのか、集落営農組織の将来像についてどのようなことを考えているか。

答 将来像というのは今後の経営継続等のことだと思うが、今年度、



滋賀県と一緒に経営農地の集積・集約に関する意向調査を実施している。この調査は経営規模を拡大する意向があるのかなど、担い手の集積・集約に関する意向を把握し、農地の集約化の取組を促進するために実施したもので、現在取りまとめ中です。

また、湖東地域農業センターにおいても、前回5年前の令和2年度に実施した集落営農組織の人材確保についてのアンケート調査を再度実施し、こちらも現在取りまとめている状況で、その結果を踏まえて関係機関で共有し、今後協議していく予定。



山田 光義 議員

問 ゴミ処理問題に 一般質問 係るゴミの量の比較は

答 燃やせるごみ、燃えないゴミ、粗大ごみの
金属は減っているが、非金属は増加している

問 ごみ処理問題について昨年の燃やせるごみ、燃えないゴミと、粗大ごみの量と近年の比較、委託経費はどのくらいか。

また、町民のごみの減量化に対する心構えや、行政としての対策はあるか。議員・自治会・行政で色々な方法を考えていく必要がある。不法投棄については、町美化条例の不法投棄禁止（第16条）に基づき、対応しているのか。

答 燃やせるごみ1・174tで委託経費は41,284,000円。燃えないごみは110tで9,746,000円。粗大ごみ金属12tで617,000円。非金属は143tで



18,126,000円です。

令和4年、5年、6年を比べてみると、燃やせるごみ、燃えないごみ、粗大ごみの金属は減っているが、非金属は増加している。

対策は、金属は業者を持ち込み換金し、粗大ごみは戸別回収にて1セット1,000円で搬出をしている。

また、役場と両センターで小型家電の収集もしている。生ごみについては各家庭で水気を切る啓発をおこないごみの減量化につとめている。

条例に基づき対応しているが、国の刑に処された場合は、条例にはあてはまらなと考

問 空き家などの環境問題の対応は

答 草や雑木は自治会と、他の環境問題は

美化条例に基づき県と対応

問 町の課題である空き家が増え、放置されており現在の状況を見て、呉竹は変わらないなという声を聞くためもっと深刻に考えてもらいたい。

答 空き家問題は長寺も増えており、放置された住宅の草や雑木が越境等の場合は、現地確認を行い対応している。また、行政が入ることができない場合は、

センターの範囲で協力をしている。指摘いただいた住宅については自治会、関係機関と検討したいと考えている。西こども園の近くの蓄積物の件につきましては、令和6年に現地確認をして警察にも相談をしている。悪臭の発生の恐れもあったため県の方も確認をしている。

また、県と情報交換や、啓発の看板を増やしていきたいと考えている。

恒例の犬上川クリーン作戦がコロナの関係で中止となっていたが、作業をしていた時は何tものごみが収集でき、ごみが減ったということもあり復活してもよいのでは。

環境美化条例上（第5条）廃棄物の散乱や雑草木の管理不良等の状況があれば、文書等で指導等が可能であり、



VOICE

町民の声 Episode.11



議会だよりへのご意見

● ご覧になられた感想は

甲良町を良くするために、議会議員の皆様が問題解決や未来の子ども達のために考えてくださっていることに感謝しています。

● 興味のある記事は

子どもや教育に関する記事で特に虐待やいじめとスポーツ関係の記事です。

● 町・町議会への提案

もっと昔のようにスポーツに力を入れて、子ども達が色々なスポーツにチャレンジできるイベントや組織づくりに努力して、スポーツの町甲良にしてほしいです。



左：濱野 廉さん 右：米田 良生有さん

氏名 濱野 廉さん (綾羽高校 野球部)
米田 良生有さん

小さい時から夢見てた甲子園の舞台で全力でプレーができ、仲間と一緒に最後まで戦えたことが大きな財産になりました。

地域の皆様の温かい応援ありがとうございました。

12月定例会の予定

～議会を傍聴してみませんか～

月 日	内 容
12月2日	全員協議会
4日	開会・一般質問
5日	一般質問（予備日）
9日	委員会（予備日）
12日	閉会日

なお、都合により日程が変更になる場合がございます。会期日程、議会会議録などは、ホームページでも公開しています。



発行責任者
議会広報特別委員会

議長 丸山 恵二
副議長 小森 正彦
委員 山田 福原 光義 守
藤居 誠治 吉也

近年における異常気象、冬のド力雪、線状降水帯による大雨、夏の異常高温、突風や竜巻などいろいろな事がいろいろな場所で変わってきている。この地球はどう変わっていくのだろう。住みやすい場所、安全なところはどこだろう、ひょっとするとこの甲良が一番良いところなのでは。自然災害ではそのような大きな災害も少なく、普通に生活するうえでそんな不便もなく、上を見ればきりが無いが、住んでいる人達の力でどんな町が良くなる、住みやすくなるのだと思います。

(藤居 吉也)

あとがき